



Vol.19 | 2017 冬号

文化飛翔

bunka-hisho

第10回山口県総合芸術文化祭 舞い、謳う、四季。

よこがお ~会員紹介~

トピックス&インフォメーション

報告 ~平成28年度の取組~

リレーエッセイ 文化の小径

YAMAGUCHI CULTURAL FEDERATION

山口県文化連盟会報

第10回 山口県総合芸術文化祭を振り返って

山口県総合芸術文化祭では、毎年、県内全域でさまざまな文化イベントを繰り広げています。第10回となるメインフェスティバルは、山口市民会館において、舞踊と音楽のステージのほか、県内の文化団体による作品展を開催し、多彩な文化芸術に触れる2日間となりました。



メインフェスティバル

舞い、謳う、四季。響き合う伝統と現代 そして明日へ

●日時：平成28年11月20日（日）13時00分開演
●場所：山口市民会館（山口市）

第10回山口県総合芸術文化祭のメインフェスティバルは、「舞い、謳う、四季。響き合う伝統と現代 そして明日へ」と題し、四季をテーマに舞踊と音楽のステージをお届けしました。

オープニングでは、10周年を記念し、過去のメインフェスティバルを振り返るメモリアル映像が上映されました。

第1部では、「観る四季を舞う」をテーマに、邦楽の演奏から始まり、洋舞と日舞が舞いを披露しました。



まずは、山口尺八同好会の「八千代」。尺八の発展を祈念し、八千代まで栄えるようにとの願いが込められた祝いの曲で、ステージの幕開けにふさわしい荘厳な演奏でした。次は、山口文化協会洋舞部門の5団体によるダンスメドレー。山口文化協会邦楽部門（箏曲・三絃）の奏者による、「さくら変奏曲」に合わせ、バレエとのコラボレーションが



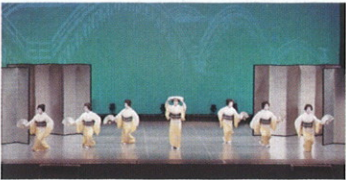
実現するなど、多様なジャンルのダンスによって四季が繰り広げられました。

第1部を締めくくったのは、（公社）日本舞踊協会山口県支部による山口ゆかりの名曲、長唄「錦帯橋の四季」。移り変わる錦帯橋の四季を優雅な舞いで繊細に表現されていました。

第2部では、「聴く四季を謳う」をテーマに、山口高等学校合唱部によるグラスハープを用いた合唱で幕が上がりました。

続いて、山口県芸術文化振興奨励賞を受賞された、松田まさ子さんと今年度、全国学校合奏コンクール全国大会で、金賞及び特別賞を受賞した、山口高等学校の管弦楽部によるオーケストラ演奏が披露されました。

鳴り止まない拍手に応えたアンコールでは、「真田丸」が演奏され、会場は一層盛り上がりました。エンディングでは、「そして明日へー花は咲く」をテーマに、



東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を観客と出演者が一緒に手振りをして歌っていました。曲に合わせて、「春」の訪れを感じさせる桜の花びらが空から降り注ぐ中、会場は感動に包まれながらフィナーレを迎えることができました。

来場者からは、「琴とダンスの共演もおもしろかった」「レベルの高い内容で大変楽しい時間を過ごせました」などの感想が寄せられ、10周年にふさわしい舞台として成功裡に終わることができました。



出演者のみなさん

（ヴァイオリニスト）松田まさ子
（邦楽）山口文化協会邦楽部門 山口尺八同好会、箏曲・三絃



（洋舞）彩バレエスタジオ、加藤舞踊学院、スタジオF、Mari Ballet Youth & School、リル・レイ・ダンススタジオ
（日舞）（公社）日本舞踊協会山口県支部
（合唱・管弦楽）山口県立山口高等学校合唱部・管弦楽部

展示企画イベント

メインフェスティバルの開催に合わせ、19と20日の2日間、県文化連盟設立10周年記念事業として、展示企画イベントが行われました。

開催にあたりオープニングセレモニーを行い、県文化連盟の野村会長のあいさつやテープカットの後、県立大学のよさこいサークル「奄美連合萩組」による「男なら」が演舞され、華やかに開幕しました。

会場では、(一社)山口県書道連盟と山口県いけばな作家協会による「書」と「いけばな」のすばらしいコラボレーション展示を多くの人が熱心に鑑賞し、山口文化協会(いけばな、書道、俳句、川柳)による作品展示や、子ども達が参加するワークショップも賑わっていました。



また、山口県歌人協会の短歌作品展、嘉村磯多などの山口ゆかりの文学者を紹介するパネル展、障害のある方の作品展のほか、邦楽や日舞のロビー公演も行われ、多くの人に楽しんでいただきました。

来場者からは「書といけばなは圧巻!どれもすばらしかった」などの感想が寄せられ、大盛況を収めることができました。

開催(予定)日	行事名	
	主催者	開催(予定)会場(市町)
7月29日(金)~31日(日)	第55回全日本吹奏楽コンクール山口県大会	山口県吹奏楽連盟 シンフォニア岩国(岩国市)
8月5日(金)~7日(日)	第55回全日本吹奏楽コンクール山口県大会	山口県吹奏楽連盟 山口市民会館(山口市)
8月21日(日)	第71回合唱コンクール山口県大会	山口県合唱連盟 山口市民会館(山口市)
9月4日(日)	第26回山口県民謡コンクール大会	山口県民謡連盟 佐波公民館(防府市)
9月11日(日)	第10回社交ダンスフェスティバル	山口県ダンス連盟 山口市民会館(山口市)
9月14日(水)~19日(月)	第24回いけばな展	山口県いけばな作家協会 下関大丸(下関市)
9月14日(水)~19日(月)	体験型芸術文化事業	山口県いけばな作家協会 下関大丸(下関市)
9月19日(月・祝)	第29回全日本マーチングコンテスト山口県大会	山口県マーチングバンド連盟 周南市鹿野総合体育館(周南市)
10月1日(土)	第64回山口県川柳大会	山口県川柳協会 サンライフ萩(萩市)
10月9日(日)	第48回山口県邦楽大会	山口県邦楽連盟 渡辺翁記念会館(宇部市)
8月27日(土)	体験型芸術文化事業	山口県邦楽連盟 ときわ公園(宇部市)
10月16日(日)	第49回山口県母のコーラスフェスティバル	山口県母の合唱連盟 アスピラート(防府市)

開催(予定)日	行事名	
	主催者	開催(予定)会場(市町)
10月23日(日)	第9回洋舞フェスティバル	山口県洋舞連盟 不二輸送機ホール(山陽小野田市)
10月30日(日)	第57回山口県演劇祭	山口県演劇協会 岩国市民会館(岩国市)
8月29日(月)	体験型芸術文化事業	山口県演劇協会 山口県青年自然の家(岩国市)
11月13日(日)	第52回山口県歌人協会短歌大会	山口県歌人協会 下関市生涯学習プラザ(下関市)
11月19日(土)	第53回山口県俳句大会	山口県俳句作家協会 山口県教育会館(山口市)
11月23日(水・祝)	'16やまぐち県詩祭	山口県詩人懇話会 シーモールパレス(下関市)
12月11日(日)	第61回山口県交響楽団演奏会	山口県交響楽団 スターピアくだまつ(下松市)
12月11日(日)	第44回山口県芸術演奏会	山口県音楽協会 不二輸送機ホール(山陽小野田市)
12月18日(日) 26日(月) 27日(火)	第40回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会	山口県管楽アンサンブル連盟 不二輸送機ホール(山陽小野田市)
平成29年3月19日(日)	Jump!!super☆junior Dance Festival Vol.5	山口県ジャズダンス振興会 海峡メッセ下関(下関市)

分野別フェスティバル

光文化協会

● 会長 南 芳城
 〒743-0011
 光市光井9丁目18番6号
 ☎0833-74-36007

本協会は、市内及び近隣の文化団体並びに文化愛好者の緊密な連絡、協調、育成に努め、もって市民文化の向上発展を図ることを目的として設立され、日々積極的に活動しています。

活動としては、例年年度当初に開催される理事会・総会、そして九月から一二月にかけて行われる光市文化祭が挙げられます。

光市文化祭は、芸能祭・文芸祭・美術展の三部門構成となっており、芸能祭と文芸祭は各団体、美術展は光市美術展実行委員会が中心となつて開催しています。平成二七年度の邦楽大会及び短歌大会は、山口県総合芸術文化祭の分野別フェスティバルと合同で光市民ホールにおいて開催し、県内のレベルの高い演奏や作品の発表の場となるとともに、市内外の多くのお客様に光市へお越しいただき、盛会裏に終えることができました。

近年は、会員や文化祭の参加者及び観覧者の減少等の課題がありますが、PR方法の工夫や入会の勧誘、美術展においては各コミュニティセンターを回り、周知を図る等、試行錯誤しながら光市の文化活動の振興のために日々活動しています。



会員紹介 ▶ よこがお

山口県交響楽団

● 代表 二井 関成
 〒747-0819
 防府市お茶屋町83-1 桑原方
 ☎0835-22-6814

戦後の混乱が収まり、文化への欲求が高まった昭和30年、山口県の呼びかけに応じた県内の音楽家たちより山口県交響楽団は結成されました。昨年、創設60周年記念演奏会を行い、会場である山口市民会館は満席となり、演奏面でもこれまでの長い歴史の集大成ともいえる成果を得ることができました。

現在、110名の団員が活動しており、県内各地から集まってきます。定まった活動拠点は無く、定期演奏会も県内各地を移動して開催されます。これは、一般の団体と比べかなり変わっていますが、山響が県民オーケストラとして誕生し、その音楽文化を広く県民に提供するという伝統によるものです。

活動としては、山口県総合芸術文化祭の一環として開催される定期演奏会、県内各地の小中・高等学校に出向いて演奏する巡回芸術劇場を軸として、山陽小野田市の事業として行われるサマーコンサートなども行っています。これまで、幾度か存続の危機に直面することもありましたが、「オーケストラの灯をたやすまい」という関係者の情熱に支えられ発展することができました。これからも「みんなの山響」を合言葉に、より良い演奏の追求とオーケストラ音楽の普及に努めてまいります。



山口県川柳協会

●会長 大場 孔晶
 〒758-10061
 萩市椿二〇〇八一五
 ☎0836-215-10215

県下川柳界の歴史的な流れの起点は意外に古く、大正五年山口市に「山口川柳社」が創立されたのが始まりで、続いて大正九年に室積川柳会、大正十年には、川柳中興の祖・井上剣花坊によって萩川柳会が創立され、以後、県下各地に川柳会が発足し、隆盛を極めたといえます。しかし、昭和の戦中の衰退を経て、戦後の再興、さらなる発展を遂げて今日、県下には二十余の川柳結社が存在します。

山口県川柳協会は、昭和五十八年に県下の川柳活動の発展、向上と川柳愛好家の交流を目的として結成され、県下各川柳会の活動への支援、協力、新たな愛好家の掘り起こしなどに努めています。

特に近年は、ジュニアへの啓蒙、向上に力を入れ、川柳教室の開催、全国大会等への参加による活躍の場の拡大を勧奨するなど、次世代への継承の取り組みを進めています。

人の心を、五七五音字のリズムで詠む詩である川柳への取り組みは、ジュニアの観察力、想像力、創造力、表現力等を育て、さらに情操を涵養し、人生を豊かにするものと確信しています。

その他、大きな取り組みとしては、山口県川柳大会があります。

昭和二十七年に第一回大会を開催、以来毎年、県下各地回り持ちで開催しており、六十四回を数えます。今年は、十月一日、第十回山口県総合芸術文化祭参加として、萩市のサンライフ萩で開催しました。

今後も川柳を愛好される多くの方々の参加を心からお待ちしております。



このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

山口県小学校管楽器教育研究会

●会長 久保田 尚
 〒754-10013
 山口市小郡緑町1-1-1
 ☎083-673-29921

山口県管楽器教育研究会は県内の吹奏楽部・金管バンド指導者の交流の場として、平成3年に結成されました。現在、18校の加盟があり、指導者講習会を年3回程度開いています。研修会の内容は年によって会員のニーズに合わせて変わりますが、管・打楽器の基本奏法や基礎合奏の指導法、楽器の手入れや扱い方、全国レベルバンドの日常練習の見学、合奏の仕上げ方、などなど管楽器の経験がない指導者でもバンド指導ができるようになるための研修を取り入れています。また、県内の各バンドの出前指導ともいえる、バンドへの指導者派遣事業や、防府市小管研との合同での実技講習会も行っています。

また毎年、2月に防府市小管研、山口県小管研の共催で交歓発表会という演奏会を開催しています。10数団体の参加で行われ、最後には約400人の合同演奏で締め

くくります。学校紹介では各校の定期演奏会のPRや活動の様子、ステージでは演奏のみならずそれぞれの学校で趣向を凝らしたパフォーマンスを披露し、お互いの演奏を学び合います。今年度は平成29年2月12日(日)のお昼頃から防府市公会堂で予定されております。入場は無料ですので、是非一度小学生の姿が覗ける姿をご覧ください。ればと思います。



Topics & Information トピックス&インフォメーション

■山口県の文化芸術情報満載のホームページ「文化情報やまぐち」のアドレス

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a19300/bunkajoho-yama/index.html>

※「Google」「Yahoo!」等で **文化情報やまぐち** で検索すると、簡単にアクセスできます。

文化情報やまぐちのホームページに掲載してあるエクセルの様式に必要事項を入力して、メールで随時提出してください。毎月20日までに提出のあったものについては、翌月初旬にホームページにアップします。

■お問い合わせ・提出先

山口県文化振興課
TEL : 083-933-2610
FAX : 083-933-4829
E-mail : bunka-joho@pref.yamaguchi.lg.jp

つながる
文化情報 やまぐち
文化情報検索・発信サイト

◇文化情報やまぐち
県では、ホームページ「文化情報やまぐち」を通じて、県内で実施される文化芸術に関するイベント等の情報を県民の皆様にお知らせしています。貴団体・施設が実施するイベント情報や募集案内等をPRしませんか？

山口県からの
お知らせ

山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館 企画展スケジュール

■山口県立美術館

企画展名	期間	内容
日伊国交樹立150周年記念 世界遺産 ポンペイの壁画展	2017年1月21日(土)～ 3月26日(日)	紀元79年、火山の噴火によって消失した町ポンペイ。本展では、これまで断片的にしか紹介されてこなかった壁画に焦点をあててご覧いただきます。

■山口県立萩美術館・浦上記念館

企画展名	期間	内容
現在形の陶芸 萩大賞展IV	12月3日(土)～ 2017年1月29日(日)	トリエンナーレ形式の公募展です。萩焼400年余りの歴史と伝統に支えられた山口県の陶芸振興のため実施してきた本展は、国内外から広く作品を募集しています。

表彰

平成二十八年度 文化芸術関係表彰受賞者

山口県芸術文化振興奨励賞

日枝 陽一 (美術/工芸)
米本 太郎 (演劇/狂言)



山口県文化功労賞

石丸 康生 (美術/絵画)
中村 真一 (美術/陶芸)
松浦 美彦 (音楽/音楽指導)
阪井 春玲 (音楽/邦楽)
土村 廣隆 (演劇/狂言)
中沢 妙子 (一般文化/地域文化)
萩美術協会 (美術/美術総合)

県選奨

音羽 晃 (文芸/短歌)
香川 靖嗣 (演劇/能楽)
金井 道子 (美術/写真)

報告 平成28年度の取組

理事会及び総会を開催

平成28年度理事会及び総会を6月7日（火）にホテルニュータナカ（山口市）で開催し、平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度事業計画及び収支予算などが承認されました。

平成27年度事業報告及び収支決算

平成27年度事業として実施した、地域の文化芸術活動支援事業（講師の派遣）、会報の発行等、第9回山口県総合芸術文化祭事業について承認を受けました。

平成28年度事業計画及び収支予算

事業計画として、地域の文化芸術活動支援事業（講師の派遣）、会報の発行等、第10回山口県総合芸術文化祭

役員改選について

任期（2年）満了に伴い役員改選が行われました。上田俊成会長、藤麻功理事、廣中典夫理事、三吉忠光監事、増田肇監事には、長い間、連盟の運営に御尽力いただきありがとうございました。

業の実施及びサポート会員制度の創設が決定されました。

平成27年度収支決算

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
項目	決算額	項目	決算額
会費 (正会員 62 団体、 賛助会員 55 口)	585,000	交流事業費 (パーティー関連)	78,520
雑収入 (利息等)	72	人材派遣事業費	57,683
前期繰越金	155,980	広報事業費 (会報制作費)	213,660
合計	741,052	管理運営費	137,562
		文化連盟 10 周年記念事業積立金	100,000
		次期繰越金	153,627
		合計	741,052

平成28年度収支予算

収入の部 (単位:円)		支出の部 (単位:円)	
項目	予算額	項目	予算額
会費 (正会員 61 団体、 賛助会員 55 口)	580,000	交流事業費 (パーティー関連)	120,000
サポート会員	90,000	人材派遣事業費	80,000
雑収入 (利息等)	373	広報事業費 (会報制作費)	300,000
基金繰入	400,000	新 加盟団体活動支援事業費	90,000
前期繰越金	153,627	管理運営費	210,000
合計	1,224,000	文化連盟 10 周年記念事業費	400,000
		予備費	24,000
		合計	1,224,000



文化交流パーティーを開催

総会終了後、当連盟の会員と本県の文化芸術の振興発展に御貢献をいただいている方々が一堂に会し、文化芸術の愛好家の輪を広げるため、恒例の「文化交流パーティー」を開催しました。

その後、和やかな雰囲気の中、皆さんは、語り合ったり、情報交換をされたり、あるいは一緒に記念写真を撮られるなど、思い思いのひとときを過ごされました。

最後は、福田百合子先生の万歳三唱で締めくくり、盛大なパーティーは華やかに幕を閉じました。

山口県文化連盟

新会長に就任して



山口県文化連盟
会長 野村 忠司

本年6月7日に開催された「山口県文化連盟総会」において、上田俊成会長の後を引き継ぎ新しく会長に選任されました。もとより上田前会長の識見や統率力に及びもつきませんが、理事の皆様方と力を合わせ山口県文化連盟の伝統を守り、文化伸展に努力して参ります。

今年度、県の施策に「観光スポーツ文化部」が新設されました。かねてから「観光文化」「スポーツ文化」を地域で提唱してきただけに、我が意を得たような喜びを感じました。

少子高齢化による人口急減社会の到来に、しかしながら芸術文化、スポーツ、観光を軸とした山口県の発展に意をつくさなければなりません。

どうぞ、山口県文化連盟の事務局をお願ひしている「文化振興課」の皆様のお力をぜひおかしください。

文化の小径

音楽力



山口県音楽アンサンブル連盟 理事長
重広 昭雄 氏

20数年前まで高校の音楽教員として勤めていましたが、最後の15年間は山口県立防府高等学校で過ごしました。学校に衛生看護科があり、実習のために県立中央病院（現在の県立総合医療センター）には大変お世話になりました。当時、病院と学校、音楽部関係者で病院の中央フロアーに舞台を設け「ホスピタル・コンサート」を実施し、入院患者さんから大いに喜ばれたことが思い出されます。

7月の暑いある日、涼みかねて、山口市立図書館に出かけました。何冊かの本を手取るうちに「音楽力」のタイトルが目に入り、お借りして帰りました。（著者の日野原重明先生は山口県出身、京都大学医学部卒業、聖路加国際病院名誉院長、

聖路加看護大学名誉学長、全日本音楽療法連盟会長等を歴任され多数の著書がある。）

著書によると、欧米では音楽が病氣治療に有効だとの認識が一般的で、米国では70年以上前から音楽療法の資格とその養成コースがつけられており、欧州にもその波はひろがっていった。しかし、日本は、健康保健の制度が早くに確立し、薬物療法やそのほかの医療等の報酬化しやすいものに偏ってしまったためか、音楽療法が日本の医療に取り入れられるようになってしまったようである。

音楽療法の理論の中には、「同質の原理」という言葉があります。これは心の状態の変化によって選ぶ音楽が変化していく

というもので、さまざまな条件、世代、年代によって好きな音楽に違いが出るようです。この原理をうまく利用すれば、音楽嫌いな人はでないのではないかと思います。

著書には、さまざまな精神疾患や家庭内暴力等への治療事例があげられています。私が音楽療法理論を応用したのは、幼い我が子にFMラジオを弱音で聴かせるように努めたことぐらいですが、今でも音楽が大好きな社会人に育っています。

音楽は身体や内臓の働きに作用し、睡眠や痛みに大きく影響します。そして、呼吸（腹式呼吸）が血液の循環や肺機能を高める。音楽鑑賞が患者の免疫力改善に効果があることは、科学的に実証されています。

音楽がもつ力は、素晴らしいものです。私はこれからも音楽を楽しみ、潤いや安らぎのある文化活動に参加していきたいと思っています。

（参考文献 著書 日野原重明 書名「音楽の力」海竜社）

賛助会員の皆様

平成二十八年四月から八月までに御入会いただいた賛助会員の皆様です。

●個人（敬称略・順不同）

- 秋本浩之（山口市）、井上 洋（山口市）、遠藤徳吉（山口市）
- 大島 収（山口市）、中村克衛（山陽小野田市）、野村忠司（下関市）
- 花柳由蝶（山陽小野田市）、藤麻 功（柳井市）堀 研（宇部市）
- 大和 努（山口市）、大和保男（山口市）、若柳克貴（防府市）

●団体（敬称略・順不同）

- 池坊山口県連合支部（山口市）、吉冬貴の会（防府市）有限会社西京ステーションサービス（山口市）、下関市いけばな連合会（下関市）、株式会社山口銀行（山口市）、山口商工会議所（山口市）、山彦俳句会（下松市）

※御本人の御了解をいただいた方についてお名前を掲載しています。

賛助会員を募集しています

山口県文化連盟の活動に御協力いただける賛助会員（個人又は団体）を広く募集しています。
年会費 1口 5,000円

※賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
※入会受付は随時しておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込方法

所定の入会申込書兼振込申込書にて年会費のお振り込みをお願いいたします。詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

0033-6000-0610

編集後記

リオネジャネイロオリンピックでは、多くの日本人金メダリストが誕生し、日本中を沸かせたのは、記憶に新しいですね。次はいよいよ東京オリンピック。若い選手たちの活躍が今から楽しみです。

もちろん、五輪はスポーツの祭典であります。近年は、文化の祭典としても注目を集めています。

私たちが誇る山口県の文化芸術を世界に向けて発信し、後生に語り継がれるようなレガシーを残せるよう目指していきます。